

県政だより
アワーとくしま

OUR
徳島

令和3年7月号
No.411



ジャパンプブルーが育む人・モノ・文化

羽ばたけ、阿波藍。

Tokushima
Blue

渋沢栄一も意識した 阿波藍の繁栄

現在放送中の大河ドラマ『青天を衝け』の主人公であり、20年ぶりに刷新される新紙幣の図柄にも採用されている渋沢栄一。家業である武州藍の生産において「阿波藍と並び称されるまでになりたい!」と彼に言わせるほど、当時の阿波藍は旺盛を極めていました。特に吉野川の下流域である肥沃な平野部で藍の栽培が盛んに行われ、江戸時代には「阿波25万石、藍50万石」とも言われるほどの経済力を発揮。阿波藍によって大きな富を得た商人たちによって、「阿波人形浄瑠璃」や「阿波おどり」などの個性豊かな「あわ文化」が育まれていくこととなります。

世界から脚光を浴びる ジャパンプブルー

いよいよ今月から始まる東京オリンピック・パラリンピックの公式エンブレムにも「藍色」が採用。さらに、令和元年には文化庁より阿波藍の文化が日本遺産に認定されるなど、徳島が世界に誇る「阿波藍」は脚光を浴びています。藍の葉を育てる生産者、手作業で約100日をかけて高品質な「すくも」を作り出す藍師、そして阿波藍の生み出す美しい色を商品やアートとして表現する染師。古くから日本人の生活に深く関わり、神秘的なブルーといわれた藍は、悠久の時を超え、これからもジャパンプブルーとして世界へと羽ばたいていくことでしょう。

「阿波藍」とは

徳島で製造される天然染料のもととなる「すくも」のこと。藍師と呼ばれる職人が昔ながらの技法を用い、タデ科の植物である藍の乾燥葉を発酵させて作る。阿波藍の製造には1年近い時間を要する。



YouTube
徳島県
チャンネル



徳島県公式
Twitter



徳島県
ホームページ



広報紙
Web版



●徳島県メールマガジンとくめる <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/koho/tokumeru> ●もっと!OUR徳島+ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/koho/2013042200169>
●点字版広報紙や声の広報をご希望の方は、視聴覚障がい者支援センターへ TEL088-631-1400 FAX088-631-1500 ●県内ケーブルテレビで県広報番組を放送しています。



徳島は宣言する
VS東京